

要請番号（JL06616B34）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
スリランカ	G121 バレーボール		個別	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

政策立案・経済問題省

2) 配属機関名（日本語）

国家青年活動評議会

3) 任地（ガンパハ県ヘイヤントゥドゥワ） JICA事務所の所在地（コロンボ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 2.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は任国で唯一の全寮制バレーボール選手養成機関である。2015年5月現在、17歳～19歳の男子選手18名、女子選手12名が在籍している。養成期間は3年、現在在籍している選手は2014年入校したグループで、2016年まで指導を受ける。2017年に次のグループが入校する仕組みだが、途中で一部の選手が入退校することがある。定員は男女とも最大で20名。配属先ではバレーボールの他にカバディ選手の養成を行っている。配属先へは1986年から2011年にかけて、断続的に9代にわたりJICAボランティア(バレーボール隊員)が派遣されてきた(前回派遣から5年以上空くため、今回は新規案件扱いとした)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は任国唯一のユース世代を対象としたバレーボール専門の選手養成機関で、ナショナルチームの選手、コーチを多数輩出しているが、世界レベルで見るとスリランカは殆ど上位圏外である(2014年の世界ランキングでは成年、ジュニアともにランキング圏外で、ユースで男子が20位にランクしているのみ)。国際レベルで戦えるよう、技術面・戦術面の指導を通じてユース世代を強化したいことから、JICAボランティアの要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

男女選手を対象に、同僚コーチとともにバレーボールの指導を行う。

練習は週6日間(月～土)、男子は6:00-7:00、9:00-12:00、15:30-17:30、女子は6:00-9:00、15:30-18:30の時間帯で行う。練習の合間(7:00-15:30)は学業に充てている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

バレーボール、屋内バレーボールコート、屋外バレーボールコート、ビーチバレーボールコート

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ 男子コーチ2名(30～40代、指導経験8-27年、国際バレーボール連盟(FIVB) Level1～2保有者、1名は日本での研修経験あり)
- ・ 女子コーチ2名(20-30代、指導経験2-17年、1名はFIVB Level2を保有)
- ・ 男子選手(17-19歳、18名)
- ・ 女子選手(17-19歳、12名)

5) 活動使用言語

シンハラ語

6) 生活使用言語

シンハラ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）5年以上 備考：指導に必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（22～32℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

敷地内にあるコーチ用の宿舎に居住する。